

平成 30 年 10 月 10 日

(あて先) 一宮市長

<申請者>

所在地 一宮市浅野字大島 9 番地 2

団体名 NPO 法人スポーツフォーラム愛知

代表者 職・氏名 代表理事 東野 健

一宮市市民活動支援金交付申請書

一宮市市民活動支援金の交付を受けたいので、一宮市市民が選ぶ市民活動に対する支援に関する条例第 5 条の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 事業の名称	保育園・幼稚園巡回サッカー教室		
2 事業の分野 〔主たる分野を一つ 選択し、○で囲ん でください。〕	保健・医療・福祉 観光の振興 環境の保全 人権・平和 子どもの健全育成 経済活動 NPO支援	社会教育 農山漁村・中山間地域振興 災害救援 国際協力 情報化社会 職業能力・雇用機会 その他()	まちづくり 文化・芸術・スポーツ 地域安全 男女共同参画 科学技術 消費者の保護
3 支援金交付申請額	456,833 円		

(算出基礎)

事業に要する経費 (a)	685,250 円
事業に要する経費のうち対象となる経費 (b)	685,250 円
当該事業によって得られる収入 (c)	0 円
支援金交付申請額※ 上限:「(b)×2/3」または「(a)-(c)」のいずれか高くない方	456,833 円

※ 1 円未満切捨て

4 添付書類

- (1) 一宮市市民活動支援に係る団体調書 (様式 2)
- (2) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る計画書 (様式 3)
- (3) 一宮市市民活動支援金申請事業に係る収支予算書 (様式 4)
- (4) 団体の規約その他これに類するもの



一宮市市民活動支援に係る団体調書

団 体 名	NPO 法人 スポーツフォーラム愛知		
市内事務所の所在地	〒491-0871 一宮市浅野字大島9番地2		
代表者 職・氏名	代表理事 東野 健		
設 立 年 月	2000年 10月	構成員の人数	10人
U R L	http://www.sfa.or.jp		
連 絡 先 ※この申請に関する 問合せに対応でき る方	(担当者氏名) 鈴木 康介		
	電 話	0586-85-6026	電 話 0586-85-6027
	E-mail	sfa@sfa.or.jp	
団 体 の 目 的	青少年に対して、スポーツ振興に関する事業を行い、スポーツを通して健全な青少年の育成と、スポーツを振興するまちづくりに寄与することを目的とする。		
主 な 事 業 内 容	①青少年に対して、生涯および競技スポーツの指導を行う事業 ②スポーツ指導者を育成する事業 ③スポーツ医学・スポーツ指導法の研究開発事業 ④スポーツ指導者を登録し派遣する事業 ⑤青少年の地域ボランティア活動を推進する事業 ⑥地域に働きかけ、スポーツに関する政策提言を推進する事業 ⑦スポーツ施設の普及と、その運営および管理する事業		
主 な 活 動 の 実 績	1. スクール事業 青年に対してサッカー・野球・柔道の3種目の教室を展開 2. サークル事業 主に成人男女を対象にフットサル・サッカーのサークルを運営 3. イベント事業 サッカー大会、会員対象運動会などを企画運営 (モノリスキッズカップ、モノリンピック、わんだふる DAY! ちびっこサッカーフェスタなど) 4. スタッフ派遣事業 各種協会などにサッカー指導者等を派遣 (日本サッカー協会、愛知県サッカー協会、西尾張サッカー協会など) 5. 施設運営管理事業 公共や私立学校などの体育施設の管理運営事業 6. 社会貢献事業 会員や社員によって保育園巡回サッカー教室、募金活動、清掃活動、 ボランティア活動を主催、参加		
今 年 度 予 算 額	55,316,194 円	昨 年 度 決 算 額	55,787,906 円
条例第2条第3項に掲げる要件について	すべて満たしている ・ 一部または全部満たしていない		
市からの他の補助金等の有無	有（補助金等の名称： ） ・ 無		

一宮市市民活動支援事業に係る計画書

団体名	NPO 法人 スポーツフォーラム愛知
事業の名称	保育園・幼稚園巡回サッカー教室
事業の内容	<p>(1) 実施期間（準備期間や後処理期間も含めてください） 平成 31年 4月 1日 ～ 平成 32年 3月 31日</p> <p>(2) 実施場所 市内各保育園・幼稚園園庭、遊戯室（もしくは近くの公園）</p> <p>(3) 受益対象者 市内各保育園・幼稚園年長児</p> <p>(4) 実施体制 スポーツフォーラム愛知（モノリスフットボールクラブ）のサッカー指導スタッフ数名が交代で2名～4名ずつ担当して巡回指導を行います。 指導スタッフは、全員が日本サッカー協会公認のB級、C級ライセンス保有指導者です。</p> <p>(5) 具体的な内容 今年度実績（51園／計 約1,500名の市内年長児を指導） 来年度予定（51園／計 約1,500名の予定）</p> <p>各園を年1回ずつ訪問し、60分間のサッカー教室を行います。 その内容は、子どもたちの発育発達に応じて、ボールを使わずに行う神経系を刺激する動き作りや、ボールを使った動き作り、また、ボールフィーリング（ボールを扱う感覚）を養う練習を行っています。 最後に試合も行い、みんなで協力すること、相手や味方を尊重すること、ルールを守ることなど、チームスポーツだからこそ学べることも指導しています。その際に、子どもたちには楽しんでプレーしてもらうことと、安全面への配慮を特に気を付けて指導を行っています。 指導者は、皆日本サッカー協会公認のB・C級コーチで、サッカー協会上級ライセンス取得時に学ぶ様々な分野（スポーツ心理学、ロジカルコミュニケーションスキル、運動生理学など）を子どもたちに伝えることが出来ます。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。

備考2 ページ数は2ページまでとする。

<p>事業のふりかえりとその生かし方</p>	<p>基本的には年長の園児が対象ですが、昨年度は園からの希望もあり、年中児も一緒に行くことも多くありました。一学年違うだけでも、団体行動への理解や運動能力に大きな差があるため、その点もしっかりと考慮して行う必要性を感じました。</p> <p>指導の質の向上、安全性の確保のため園児の人数・学年に応じてスタッフの数等も工夫しました。</p>	
<p>当該事業を実施する理由</p> <p>※目指す地域・社会像や、事業を実施することにより、どのような課題が解決され、どのように目指す地域・社会に近づくか等を記載してください。</p>	<p>幼稚園児は神経系の発達が著しい時期なので、この時期に色々な動作をすることにより、多くの神経経路をスムーズに発達させ、それが将来さまざまな運動を行うことへの良いきっかけになります。しかし、外遊びが難しくなっている現代社会において、我々大人が子どもたちのために身体を動かすことができる良い環境を作っておく必要があります。良い環境とは、子どもたちの成長段階に合わせた運動強度、運動頻度で、専門知識を持った指導者が教えることだと思います。指導者は、日本サッカー協会の公認ライセンスを所持しており、このような専門知識を持っています。普段もクラブで実際に指導していますが、丸いサッカーボールを使いながら運動を行うことにより、神経系の発達と同時に球技の特性であるボールの動きにも対応できる様になります。子どもたちが、サッカーを通じて、高い運動能力、ボールへの対応、そしてチームスポーツの一番の特性である協調性を学んで、仲間を思いやって、物事に全力を尽くすことができるようになるのを望んでいます。</p>	
<p>費用負担について</p> <p>※受益者負担が求められるかどうか、公金で実施する理由などを記載してください。</p>	<p>指導者の勤務時間外の午前中に、この巡回サッカー教室を行います。毎年約 50 園・1500 人程度の園児に指導をしているため、負担も大きいです。有料化も検討しましたが、訪問後にアンケートを記入していただき、その中で巡回指導の有料化について何うと、無料のみ希望するという回答がほとんどです。しかし巡回指導を楽しみにしている園が多い中で、質を落とした指導を行おうとは思っておりません。また、「子どもたちからも楽しかったという声が聞け、有意義な時間が過ごせました」というような言葉を多くいただいております。</p> <p>このような活動は子供の運動機能発達に貢献するとともに、友人と楽しみながら活動するという社会性や精神面に対しても好影響を与え、地域社会に貢献できるため、公金で実施する価値があると思います。</p>	
<p>事業スケジュール</p>	<p>時期（月）</p> <p>4 月 4 月～翌 3 月 2 月</p>	<p>内 容</p> <p>スケジュールリング、各園の巡回日決定 巡回サッカー教室実施（ピークは 10 月～12 月） 次年度分を保育課で各園希望取りまとめ</p>

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4（片面印刷）とする。

備考 2 ページ数は 2 ページまでとする。

支出科目の内訳

科 目	金額（円）	内 訳 ^{※1}
	支援金算出額（円）	
報償費	637,500	コーチ謝礼 ○5,000円×平均2.5人×51園=637,500円
	637,500	
旅費	16,000	燃料 ○20円×平均16km（往復分）×1台×50園=16,000円
	16,000	
印刷製本、 消耗品費		
食糧費		
通信費、 手数料	9,250	スタッフ保険代 ○1,850円×5人=9,250円
	9,250	
備品費 ^{※2}		
人件費	22,500	事務員人件費 ○900円×0.5h×50園=22,500円
	22,500	
使用料、 賃借料		
その他		

※1 一部が「支援金算出額」となる場合は、その該当分のみを（ ）書きで再掲してください。

例）スタッフ費用 @1,000円×5h×2人=10,000円（@900円×5h×2人=9,000円）

※2 備品費を計上する場合は、内訳欄に購入理由も記載してください。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4（片面印刷）とする。